

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



POWER

Vol.
60

季刊誌パワー

発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 〔平成30年12月20日発行〕

WINTER 2018

平成三十年度 秋季定例会 〔雇用改善推進会議〕開催報告

平成三十年十月二十六日（金）

「ANAクラウンプラザホテル金沢」

A. 定例会報告

一. 開会の辞

副会長 篠森 義晴

一. 全鉄筋会長挨拶

会長 岩田 正吾

平成三十年度 秋季定例会決議

一. 西日本豪雨災害見舞金の目録贈呈、支援御礼

愛媛県鉄筋業協同組合

理事長 山本 信二

一. 来賓祝辞・挨拶 衆議院議員 自由民主党 中山 泰秀様

一. 会議

(1) 各事業委員会報告

経営委員長

副会長 篠森 義晴

技術委員長

常任理事 新妻 尚祐

教育訓練委員長

専務理事 飯島 勉

広報委員長

副会長 知念 辰昇

実習生事業委員長

副会長 武田 美治

(2) 就労人口調査、社会保険加入状況の纏め報告

社保・就労調査WG

GL 佐々木 善弘

(3) 女性活躍推進WG活動報告

常任理事 宮本 ゆり子

(4) 建設技能者の能力評価基準

理事 池田 慎二

(5) 各地区における受注単価・労務状況等報告

事務局

B. 講演

「建設業における専門工事企業の未来展望」

芝浦工業大学 工学部建築工学科

博 士 蟹澤 宏剛様

一. AIG損保 「業務災害総合保険」説明

一. 閉会の辞 副会長 知念 辰昇

次世代経営者と職人の未来に向け活動



全国から傘下組合幹部が出席して開かれた秋季定例会。26日、金沢市のANAクラウンプラザホテル金沢で。

全鉄筋が秋季定例会 改革へ業界をリード

全鉄筋が26日、金沢市ANAクラウンプラザホテル金沢で、平成三十年度秋季定例会を開催した。岩田正吾会長は「本年は、山形県、岩手県、秋田県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、高松市、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、の各都道府県から、傘下組合の代表者として、総勢約100名が出席した。岩田会長は開会挨拶で、全鉄筋が「安全・安心・信頼」をモットーとして、業界の発展と職人の育成に努めていると述べ、今年度の活動報告と、今後の活動方針について報告した。また、岩田会長は「全鉄筋は、業界のリーダーとして、業界の発展と職人の育成に努めている」と述べ、今後の活動方針について報告した。また、岩田会長は「全鉄筋は、業界のリーダーとして、業界の発展と職人の育成に努めている」と述べ、今後の活動方針について報告した。



岩田会長は「結束」による活動推進を訴えた。

平成30年度秋季定例会決議

国の施策である建設業働き方改革加速化プログラムの一つ、「長時間労働の是正」の週休2日制は、「導入の後押しをする」との表現にとどまり、実現には様々な問題の解決から多くの時間を要することは必至である。また、国の施策には、全鉄筋は如何なる問題があるろうとも加速化を以って積極的に取り組む所存である。

そうした中、今年の夏は災害に匹敵する猛暑を記録し、現場で作業する技能者たちは、生死に係わる環境下であったと言っても過言ではない。

以上を鑑み、全鉄筋は政府、並びに関係団体に対して以下の決議を上申するものである。

**全ての工事現場において
7月から9月の全ての土日を
休工する**

組合紹介

北海道鉄筋業協同組合

今年 9月に発生しました胆振東部地震の際は、全国の皆様よりご支援、励ましのお言葉をいただき、誠にありがとうございました。

北海道鉄筋業協同組合は、昭和38年組合員21社により鉄筋工事業を営む企業に以って、鉄筋業界の1層の発展を図る目的として設立され、多い時には、80社以上の組合員が存在してまいりました。

現在、6支部61社、賛助会員16社で構成されております。

昭和48年より、事務局として利用していたビル老朽化に伴う取壊しの為、今年3月に事務所を移転する事になりました。

事務所として45年間使用していた場所でもあり、移転する際は寂しい気持ちもありましたが、心機一転、職務に励んで参ります。

当組合は、経営の近代化・合理化の促進、鉄筋工の技能・技術向上、労働環境の改善と鉄筋工の確保・育成を目的として取り組んでおります。

青年部を中心とした、工業高校への「出前講座」「現場見学会」や幾多の体験イベントを開催し、「鉄筋を知ろう!」をテーマとして、見て・触れて・実際に体験してもらう事で、鉄筋に関心を持っていただき、未来の技能者・職人の確保、育成に繋げる事を目的として取り組んでおります。

また、技能・技術向上を図る為、技能検定受検者への各講習会を開催し、一人でも多くの鉄筋技能士資格者を輩出しております。

来年2月は設立55周年という節目を迎えるところですので。

更なる業界発展に向けて一層努めて参る所存でございます。

今後とも関係団体及び（公社）全国鉄筋工事業協会初め、会員皆様にならぬご指導を賜りますようお願い致します。

平成30年度 第28回(公社)全国鉄筋工事業協会 雇用改善 青年部全国連絡会議報



冒頭の岩田会長の挨拶では、建設業を取り巻く環境が激変する中、若年労働者の確保と育成に加え、職人さんの処遇を改善するためにも、「働き方改革」や「キャリアアップ」への取り組みが重要になるが、それが本格的に稼働するのは10年後になるだろう。我々の次の世代のためにも、青年部がしっかりと考え、行動してほしいと檄が飛んだ。

平成30年11月9日、大阪リーガロイヤルホテルにおいて、平成最後となる全鉄筋青年部連絡会議が開催されました。関西鉄筋工業協同組合の田中青年部長の開会の挨拶を皮切りに、全鉄筋の岩田会長、熊谷青年部担当理事、村井事務局長が挨拶、引き続き、魅力ある産業「誇りある仕事」をテーマに、働き方改革に関するパネルディスカッション、国の政策に対する疑問に答える会が行われました。



働き方改革パネルディスカッション働き方改革のパネルディスカッションでは、各地区の幹事が登壇し、それぞれの意見を発表するとともに、前回同様LINEを活用した全員参加型のディスカッションが行われた。1つめの議題は、週休2日制による労働時間減少についてどのように考えるか？2つ目は、生産量が減り、売り上げも下がることになるが、どのような対応を行うべきか？3つ目は、現状の単価よりも値上げをするべきか？また、値上げをする際にはどの程度上昇するべきと考えるか？最後は、社員の平均年収を幾ら程度にしたいか？という4つの議題にパネラーだけでなく、会場からも多くの意見が寄せられた。ディスカッションの最後に、北信越地区の代表幹事の小寺氏は、今まで週休2日制について歩掛、生産性、受注単価、賃金支払い(賃上げ)等色々と話し合っていたいただきましたがこの場を情報収集の場とさせていただき、各県、各地域様々な作業環境、単価、交渉があると思いますが、地域にあった週休2日制への順応性を活発にし、今日会議に来ている方々の意見や考え方を参考にしてもら

働き方改革
パネルディスカッション



国の政策に対する疑問に答える会
(パネルディスカッション)

い、社業発展に尽力して頂きたいと話し、働き方改革パネルディスカッションを締めくくった。

国の政策に対する疑問に答える会では、パネラーに、国土交通省建設流通政策審議官の北村知久氏、芝浦工業大学工学部建築工学科教授の蟹澤宏剛氏をお招きし、全鉄筋の岩田会長がコーディネータ役を務め、質疑応答形式でパネルディスカッションが行われました。

Q1 公共工事での導入では進んでいくと思うが、民間工事がどう進んでいくか？

A1 (岩田会長) 官民問わず、いい会社だと公共工事では登録基幹技能者を使うと入札時にポイントが付く。下請けが優れた能力を持ち、いい専門業者を抱えている元請に仕事が発注されるように、元請に対してアピールしていく。3つ星ではなく、4つ星が欲しいという流れになり、評価基準が決まってくるのではない。エンドユーザーからの理解が得られる仕組み作りが必要となる。(北村氏)

ゼネコンに頼んでも実際に施工するのは専門業者である。鉄筋工の仕事は一般人に認知されにくい。キャリアアップシステムにて鉄筋工の見せ方を検討することも必要である。発注者にも周知を進めている。(蟹澤教授) 日本の発注制度ではゼネコンから仕事も貰う形態は変わらない。設備業者は希望が通る



(EVは三菱など)。業界が努力をして価値を示す仕組みを作ってきた。(ビルマイスターなど)(岩田会長) 大手ゼネコンの対応を行う鉄筋業者は10人の優秀な職長を抱えている会社か、30人の職人がいる会社が評価されるのかなど不明確である。動員力、専門性、品質管理、他人に評価を任さないことを必要である。専属下請けを評価するかも再考することも検討する。第3者委員会が評価することも考えていく。この仕組みに関して10年は必要ではないか。

最後に、今回で代表幹事を卒業することとなった、赤澤代表幹事から総評がありました。5年間まとめ本当にお疲れ様でした。総評で赤澤代表幹事は、①青年部の場を自己研鑽の場と捉え、リーダーシップやその資質などを身につけてもらう場と考えていただき、実力を得た後全鉄筋の親会に上がりさらなる活躍していただくこと。②働き方改革は「長時間労働の解消」が根幹。課題が多く何から手を付けていいのか分からない状況に陥っても、原点に返り、目的は何かを見つめ直し、できることから実行していくことが大切。③国の政策に対する疑問は一体誰の疑問なのか？私達目線、若手目線で見ると10年後への疑問、という視点が重要。分からない所があれば全鉄の親会に聞いてみる、岩田会長に直接聞いてみることから始めよう。閉会にあたり、次年度の開催地の石川県鉄筋業協同組合青年部長の青山氏より、また来年に皆様とお会いできることを楽しみにしていると挨拶があった。

まとめ

工期の部分で一定基準を設けて対策するべきではないか。工期請負をどうするか、請負形態をどうするか課題である。トン幾らで表現できない仕事とどう向き合うかや、法改正などで対応できるか協議が必要である。

青年部連絡会議の資料がダウンロードできます。

01 次第

02 出席者名簿

03 全国青年部規約【改訂】

04 働き方改革 アンケート結果報告【全国】

05 働き方改革 アンケート結果報告【地区別】

06 事業承継 アンケート結果報告

07 全国青年部リスト

08 部材の流通における鉄筋の流通方法に関する実態調査

＜QRコード読み取りアプリ＞

公式QRコードリーダー“Q”

QRコードを読み取り、資料をダウンロードできます。

※スマホ、タブレットで閲覧する場合は、Excel・PDFのアプリが必要です。

建設マスター



飯島 教育訓練委員長	小林 美穂 (株)関西スチールフォーム 関西	田平 耕一郎 正栄工業(株) 関西	林田 秀幸 (有)林田鉄筋工業 長崎県	古澤 弘樹 (株)マルシヨー鉄筋工業 福岡県	今村 一彦 南武(株) 鉄工協
柳沼 芳紀 (株)平山鉄筋 福島県	天野 寿博 (株)ナガセ 愛媛県	小笠原 誠 大邑鉄筋工業(有) 島根県	喜多 晋 (有)工藤建設興業 徳島県	林 純一 (株)みつはし鉄筋工業 北海道	

叙勲褒章



褒賞
飯島 勉
飯島鉄筋工業(株)代表取締役
全鉄筋専務理事 愛知



叙勲
町田 十九一
(株)町田工業 代表取締役社長
全鉄筋理事 長崎

ジュニアマスター



飯島 教育訓練委員長	松川 秀樹 マルゼン建鉄(株) 長野県	小森 宏和 南武(株) 鉄工協	小椋 侑規 (有)小椋工業 群馬県
------------	------------------------	--------------------	----------------------

各地区広報活動報告

神奈川県鉄筋業協同組合

■2018.7.24～7.25の2日間、パシフィコ横浜
●来場者数2万3千人うち鉄筋ブース740人
●10:00～16:00
神奈川の職能協主催で「かながわしごと・技能体験フェスタ2018」へ「はじめまして鉄筋です」というテーマで今年で3年目の参加になります。開催日が夏休みの期間の為、主に小学生がお父さん、お母さんと共に来られます。



対象が小学校低学年の為、鉄筋も軽く細い物を使いました。鉄筋で組上げたモニュメントの周りをスタート→結束体験(ハッカー)→結束体験(機械)→おもさ当て→曲げ切断体験→ゴールと、技能体験とスタンプラリーを合わせて行う形をとり楽しみながら体験できるようにしました。また、作業着体験や圧接の動画、工場での電炉の動画、職人さんによる組立実演、AR動画の展示、工具の展示等行い、大人でも楽しめるものも用意しました。3年目という事もあり、前回も来てくれた方が多くみられました。また、1日に2回3回と来てくれる方が多かったです。



中部

■2018.11.10～11.11の2日間、静岡建設祭りIN清水マリンパーク
●来場者数6000人
もっと知って鉄筋工事の事と題しまして、柱、梁、壁のモックアップと恐竜や動物の鉄筋アートを会場で展示しました。モックアップを使用し、そこでは結束体験も行い小中学生を中心に沢山の方に伝えることが出来ました。



■2018.11.12建設専門工業合同体験フェアINオアシス21
●対象者 愛知、岐阜、三重、静岡の県内の高校、専門学生約300人が対象
結束体験や座学、(鉄筋の種類、継ぎ手の種類、構造部位等)を説明し、1組40分を7組に分け、9:00～16:00まで行った。工業高校や専門学校の生徒たちは、興味を持って来ている方が多く、熱心に説明を聞いていました。特に女子生徒の結束体験の器用さが目立ちました。



トピックス



さいね…)

また、男性を含む就労人口データと同様に、中間層に比べて若年層は減少していますので、今後、入職を希望する女性を迎える良い環境を整えたいと思います。そのためにも、女性ネットワークによる情報発信に努めて参りますので、皆様のご理解をお願いいたします。

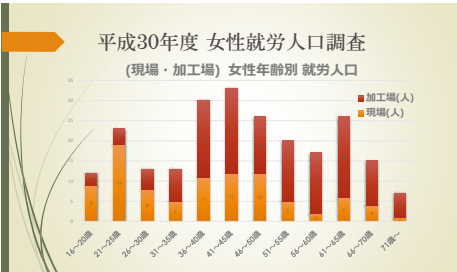
《女性活躍推進WGより》

◆11月15日、(一社)建設産業専門団体連合会の全国大会において、「女性技能労働者から見た建設現場“夢と希望”を求めて」をテーマにパネルディスカッションが開催されました。

コーディネーターは㈱CHANCE for NE代表取締役社長清水レナ氏、パネリストは全ク連、全室協、日左連、全防協、富士教育訓練センター、そして全鉄筋からは関西鉄筋工業協同組合の中村奈々さんが参加しました。職長を務める中村さんは“実現したい夢”の問い掛けに対して、「社内に女性だけのチームを作りたい、また、女性作業所長と女性職長の集まりで建物を造ってみたい」と語り、力強く快活に意見を述べておられました。(お疲れ様でした…)

◆12月18日、(一財)建設業振興基金の「建設産業女性活躍推進ネットワーク」会議が開催されます。これは国土交通省が指導し実施されているもので、現在エントリーしている25団体が参加し、組織的・人的な相互交流の促進、それぞれの活動等の情報共有、好事例などの意見交換を行います。全鉄筋からは女性活躍推進WGの宮本委員長、加藤委員が参加いたします。

全鉄筋にとっても何か参考になるものがあるといいですね。 《またまた女性活躍推進WGからでした》



鉄筋工事の安全と品質は

どちらが重いか

広報委員会委員長 知念 辰昇

鉄筋工事は構造物の大切な構造体を担っており、品質事故の責任問題では我々企業の生死にも関わります。

しかし、多くの品質事故は時と金を掛ければやり直しが出来る。

人命が掛かっている安全は、現場の人身事故も交通事故もやり直し、即ち事故前に戻す事ができません。(ドレーモンなど漫画の世界はタイムスリッ プし、もといも出来ませんが…)

私的感であります、わたしは敢えて安全と結論付けたい。

今年の夏は全国的に42℃43℃：とものすごい猛暑を記録したにもかかわらず、空調服の浸透のお陰で鉄筋工の熱中症が例年に比べあまり増加していないとのこと、空調服をもっと推進させましょう。

では、鉄筋工事においてどうすれば重篤事故を最小限に防げるか。

それは落ちない、落とさない、倒さない、この3点に気配り目配りすることに尽きると思います。

また、注意対象としては、1. 熱中症の経験者、2. 事故った人、3. 事故った班に再発の可能性があり、1. 新規入場の人、2. 応援の人、3. 外国実習生も要注意です。

安全は会員各社が、各社ルール・現場ルールを厳守することにより確保できると思います。

分かりきったこと、当たり前のことが出来ないで事故が起きています。釈迦に説法でした。日々細心注意、ご安全に：

専門工事業の若手人材の

確保・育成をめざす

関西鉄筋工業協同組合



当組合と近畿建設躯体工業協同組合、関西圧接業協同組合は平成28年12月に3協組の連合体として専門工事業の若手人材の確保・育成をめざす「関西職人育成塾」を立ち上げ、平成29年2月1日付けで大阪府より職業訓練認定団体の認定を受けました。これを受け、昨年度から会員企業の新人社員等を対象にした鉄筋基礎講習を開催し、この2年間で合計30名が受講しました。

4月から約3週間の日程で実施している講習では社会人としてのマナーや建築概論、安全衛生教育、鉄筋組立作業のほか玉掛けやクレーン、足場組立、高所作業車といった資格の取得もカリキュラムとして組まれています。講師は会員企業のベテラン職人を中心に、安全衛生教育等については(一社)日本建設業連合会関西支部のご協力をいただき講師を派遣していただいています。

編集委員
委員長 知念 辰昇(鉄工協)
副委員長 宮本ゆり子(山口)
木浪 裕子(北海道)
工藤 桂一(神奈川)
田浦 真一(関西)
兼澤 伸至(広島)

国家資格も取れる私達鉄筋の仕事、母親を巻き込んで全国的に展開できればイメージも上がっていくのではないのでしょうか。
是非、全国鉄筋母親の会の開催を立ち上げましょう。

木浪 裕子

編集後記

職業選択の相談相手

第1位は母親

北海道建設部のアンケートでも仕事を選ぶときに最も大きな影響力があると言われています。

そこで道商連を中心に、道建協、道専連、行政などが連携して、母親を対象にした懇談会を開催しました。

どんな職業でも同じですが、家族や親戚などで身近に建設業に携わっている人がいなければ、仕事について知るきっかけがありません。

同会に同席した人によると「建設業をよく知らなかった。子供が建設業に行きたいという希望があれば支援したい。」という発言が印象的だったそうです。

国家資格も取れる私達鉄筋の仕事、母親を巻き込んで全国的に展開できればイメージも上がっていくのではないのでしょうか。

是非、全国鉄筋母親の会の開催を立ち上げましょう。